

研究に関するお知らせ

ヘリコバクターピロリ感染とHDLコレステロール値の関係に関する横断的研究

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 人間ドックセンターでは、以下にご説明する研究を行います。

この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。

■研究目的・方法

血中ヘリコバクターピロリ（HP）抗体の抗体価が陰性ないしは陰性高値（3-10U/ml）の中にピロリ菌が感染している例が含まれていることが知られています。またピロリ菌感染が脂質代謝に影響を及ぼすことがこれまでの報告により知られていることから、当施設で測定したHP抗体値と、脂質プロファイルを含めた血液検査データを評価することとした。2016年5月から2019年1月までの受診者8423名を調査しました。HP抗体陰性（10U/ml以下）群1186名（14.10%）の中、生検を実施した53名（0.63%）のうち、3名（0.04%）のHP感染が認められました。すなわちHP抗体陰性の中に陽性が隠れていることを認めた。これは抗体価だけの判定は危うく、更なる判断指標が必要と考えます。そこで、HP抗体陰性群をさらに、3 U/ml以下の完全陰性群（A群、767人）と3-10 U/ml陰性高値群（B群、419人）に分けました。血液検査データなど様々の結果を比較したところ、A群のHDLコレステロール値がB群より有意に低い（ $p < 0.001$ ）ことを認めました。これは、初期HP感染による胃粘膜異常が脂質代謝に影響を及ぼす可能性、及びHDLコレステロール低値がHP感染の新規判断指標となる可能性を示唆しました。今後ではHP抗体の抗体価だけではなく、HP感染を見逃さないよう、内視鏡医師の肉眼判断、生検の結果及びHDLコレステロール低値、を総合的に判断する必要があると考えます。また、個々の運動状況、除菌状況など詳細な調査を、n数を増やすこととともに調査する予定であります。

■研究期間

理事長承認日～西暦2020年3月31日

■研究の対象となる方

2016年5月1日から2020年3月31日までの受診者のうち、HP抗体が陰性の方（未成年者は含まない）、研究参加拒否以外のすべての受診者を対象にする。

■研究に用いる試料・情報の種類

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■利益相反

利益相反に該当する事実はありません、利益相反の状況については当センター利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理しています。

■研究責任者

国立研究開発法人国立国際医療研究センター 人間ドックセンター 井上 博睦

■お問い合わせ先

〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
人間ドックセンター

担当者： 呂 軍

電話： 03-3202-7181 内線：4138

メール： j-lu@hosp.ncgm.go.jp